

第2学年「体育」学習指導案

授業者 栗原 知子

2月16日(木) 1階体育館 9:00~9:40

1 題材名 いろんな動きを見つけよう(表現遊び)

2 題材について

(1) 児童の様子

2年生はとても元気のいい学年である。鬼ごっこが大好きで、ドロケイや氷鬼などをよく楽しんでいる。楽しみながらも、みんなで決めたことが守られないジレンマを感じたり、どうしたらいいかを考えたりすることが増えてきたように感じている。中学年への発達が見られると同時に、サークル対話などを通じて少しずつ積み重ねてきた考える習慣が表れてきたともとらえられる。休み時間には、一輪車や縄跳びなどにも取り組んでおり、運動の種類が広がりつつある。

体育の時間では、全身を使ってよじ登ったり、ぶら下がったり、また高いところから飛び降りたり、高いところから転がってみたりと日常生活では体験することの少ない動きに挑戦している。鉄棒などでは、はじめ頭を下にしてぶら下がることをとても怖がる子があり、幼児期の体験が少ないことが感じられたが、マスターした子が先生役になり辛抱強く教えたり、助けたりする姿が見られ、ほとんどの子が頭を下にする感覚をつかむことができた。小さな動きの感覚ではあるが、いろいろな動きにつながる大事な感覚であるととらえている。その後、怖がっていた子は自分から逆立ちや回転の練習などにも取り組んでいる。

(2) いろいろな動きを

子どもたちを見ていて思うのは、どんどん動きのバリエーションを作っていく力のすごさである。頭で考えて動くというよりは、体が先に動いてしまっているというのがわかる。逆さになってぶら下がれたら、ちょっと片手を離してみる、足の向きを変えてみる、ぶら下がったのじゃんけん大会はお手の物である。それが子どもの自然な姿なのかもしれないと感じる。次の一歩として、ここではいろいろな動きとイメージを結ぶという学習を通し、頭も体も一緒に働かせることも体験させたい。低学年の子どもほどイメージの世界に遊ぶのが上手であるのはよく言われることであるが、全身を思い切り動かす体験を大事にしながら、体のいろいろな使い方を工夫させたい。教師と一緒に動く安心感の中で、動きのバリエーションを増やし、子どもたちが心と体を解放して、自分なりの表現で伸び伸びと動く瞬間を引き出したいと考えている。

3 学習指導計画(2時間目/全3時間)

- ・みんなでのりのり … 1時間
- ・動きを見つけよう … 1時間(本時2/3時間)
- ・友達と一緒に楽しもう … 1時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・たくさん体を動かして楽しむ。
- ・自分で動きを見つける。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1. ウォームアップ 2. のりのりタイム ・リズムに乗って、楽しく動く。 ・体をたくさん動かす。 3. なりきりタイム ・イメージにあった動きを工夫する。 ・体を思い切り使う。 4. 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・思い切り体を動かして、体を暖める。 ・前時の活動を広げるように、声かけをしていく。 ・友達と関わりながら、楽しい雰囲気の中で動きを工夫できるよう配慮する。 ・精一杯の動きを引き出す言葉かけ。 ・教師も一緒に、動きながら考えていけるようにする。